

令和元年度 事業報告書

大府福祉会基本理念

聴き、寄り添い、動く

私たちは、利用者・家族・地域などの「声」に耳を傾け、誰もが安心して暮らしていけるように、様々な福祉サービスを行います。そして、一人ひとりの想いに寄り添い、望む暮らしや生き方の実現に向けて必要な支援を行います。



社会福祉法人大府福祉会

法人事業一覧

□法人本部	〔組織〕理事会 評議員会 評議員選任・解任委員会 苦情解決・虐待防止委員会 中長期総合計画策定推進委員会
＜施設支援事業＞	
◇あけび苑	生活介護事業 就労継続支援B型事業
◇計画相談支援事業所カラフル	特定相談支援事業 障害児相談支援事業
◇東あけび苑	生活介護事業 就労継続支援B型事業 居室確保事業
◇ひだまり	生活介護事業 居室確保事業
◇あけびの実	就労継続支援B型事業
◇たくと大府	生活介護事業 日中一時支援事業 居室確保事業
＜児童発達支援事業＞	
◇大府市発達支援センターみのり	児童発達支援事業 保育所等訪問支援事業 特定相談支援事業 障害児相談支援事業
＜地域生活支援事業＞	
◇ホームヘルプセンター「そら」	居宅介護事業、行動援護事業、移動支援事業
◇ホーム事業所「そら」	共同生活援助事業 ひいらぎホーム 若草ホーム 池之分ホーム ひまわりホーム はんつきホーム みのてホーム よしかわホーム くすのきホーム

次項以下、評価の説明 ○は実施 △は実施したが課題を残す ×は未実施

法人本部事業

【重点事項】

① あけびのの実の移転開設に必要な業務を行う。	
12月に新築工事・事業所移転を完了し、新施設での活動を開始した。	○
② 新たな給与制度導入に向けた準備を進める。	
毎月1回専門業者との会議を行い、令和3年度導入に向け準備を進めた。	○
③ 事務局内の担当業務を事務員間で共有し、合理的な遂行を目指す。	
給付費請求について取り組むことができたが、会計業務については不十分であった。	△

法人名	代表者名	認可年月日	登記年月日
社会福祉法人大府福祉会	理事長 下村庄平	1985年1月9日	1985年1月25日
住所	〒474-0011 大府市横根町名高山78番地2 電話0562(85)5228 FAX0562(85)5229		
メールアドレス	obufukushikai1985@aroma.ocn.ne.jp		
ホームページ	http://www.obufukushikai.com		

事業の内容		開催	摘要	評価	
会議の開催	評議員会 現員7名	7名出席 7名出席 6名出席	6月13日 11月27日 3月27日	平成31年度事業報告・収支決算等 令和元年度収支補正予算等 令和2年度事業計画・収支予算等	○
	理事会 現員6名	4名出席 5名出席 6名出席 4名出席 6名出席	5月17日 5月30日 6月13日 11月20日 3月17日	あけびの実建設工事入札参加業者等 平成30年度事業報告・収支決算等 理事長及び常務理事の選定等 補正予算・助成金申請等 令和2年度事業計画・収支予算等	○
	監事監査 監事2名	1名出席 1名出席	5月21日 5月21日	平成30年度事業監査 指摘無し 平成30年度会計監査 指摘無し	○
	管理者会議	8名出席	年間24回	事業の経営・運営の協議等	○
	副管理者・ リーダー会議	7名出席	年間6回	事業所の情報交換・調整等	○
	全事業所合同職員会議	—	—	新型コロナウイルスの影響で中止	—
	委員会の開催	苦情解決・虐待防止委員会		7月3日	第三者委員に30年度状況を報告
第4期中長期総合計画 策定推進委員会			3月17日	第4期中長期総合計画の2年目 (令和元年度)の評価	○
計画策定部会			3月6日	中長期計画2年目の進捗確認、評価	○
新事業部会			年間6回	新事業に関する計画の検討	○
人材育成部会			年間9回	人材育成に関する計画の検討	○
地域・広報部会			年間9回	地域・広報に関する計画の検討	○

法人主催 職員研修 の実施	段階別研修	管理職員 中級職員② 中級職員① 初級職員 新任職員	年間2回 年間2回 年間2回 年間3回	法人内の同段階の職員同士が、必要とされる学習を互いが良い刺激の中で受けて切磋琢磨し、法人全体の底上をはかる	○
	職種別研修	看護師 調理員 事務員	各職種 年1回	職種に必要な知識の習得や法人内の課題の検討を行う	○
	全体研修		8月9日 3月	法人内実践発表会 メンタルヘルス研修 ビデオ研修に変更	△
人 事	人材の確保		適 時	必要に応じた職員採用を行う	○
情報の 公開	ホームページの公開		通 年	適時に更新	○
	機関紙の発行		年2回	関係者、公共施設に発行 1000部	○
	広報パネルの展示		適 時	市内イベント11か所に掲示	○
法人独自の サービス	緊急時の一時預かり		緊急時	施設利用者 述べ12件に対応	○
	送迎サービス		通 年	施設利用者 65人利用	○
募 金	募金箱の設置		通 年	市内外の店舗や施設43箇所に募金箱を設置	○
財 務	法人経営計画の運用		通 年	5年計画の1年目。積立金の目標を達成できず	×
事業所移転	あけびの実移転開設		通 年	令和元年12月に長草町に移転し、運営を開始する	○
相談会	第三者委員との相談会		—	新型コロナウイルスの影響で中止	—
啓 発	各種体験会の実施		適 時	市民向け勉強会、小学生体験会等	○

第4期中長期総合計画 2年目の評価

[令和元年度の実施内容]

1. 新たな福祉サービスの展開

(1)必要な福祉サービスの構築	内 容		評 価	
①必要な事業の整備	新規事業(暮らしの場)の創出	調査・検討	3年間で調査・検討する。今年度は取り組めていない。	×
	大府市発達支援センターみのりの受託運営	充実	利用児童数も増え、療育の整備や関係機関との連絡調整を行った	○
	既存事業(日中活動や暮らしの場)の量的拡大(定員問題)	調査・検討	各事業所の定員、現員、以後3年の特支卒業生徒の希望見込みから今後の定員状況を調査・検討した。	○

(2)事業運営の強化	内 容		評 価	
①事業運営の強化	高齢化する利用者への支援	継続	認知症判断テストを定年齢で実施。データを蓄積し、過去を振り返るシステムが確立できた。	○
	あけびの実の移転	実施・完了	2019年12月開所。店もオープンした。完了とする。	○
	計画相談支援事業所の運営	実施	相談支援専門員の配置について考察した。一方で大府市自立支援協議会の見解に注目した。	○
②利用者の安心・安全の保障	災害発生時の備え	準備	災害時必要品目を検討する。「171」災害伝言ダイヤルを活用していけるよう練習を行った。	○
	施設及び設備等の大規模修繕	調査・検討	300万円以上が見込まれる事案をリスト化し経営計画とリンクさせた。来年度は準備とする。	○
	車両の管理体制の構築	準備	公用車の更新を行った。来年度は運転者講習を実施する。	○

2. 人材の確保・育成

(1)人材の確保	内 容		評 価	
①必要な人材の確保	法定外福利厚生への取り組み	継続	昨年度より資格手当の増額を実施し、今年度も継続している。	○
	効果的な方法での求人活動	継続	法人で作成した動画を採用活動で引き続き活用している。	○
	中高生に向けての発信	実施	中高生の福祉実践教室の講師を若手職員にも拡大した。	○

(2)人材の育成	内 容		評 価	
①人材の育成	法人研修の実施	見直し	来年度から、研修区分を等級別の区分けに変更を行う。	○
	キャリアビジョン作りの取り組み	継続	昨年度作成したイメージ図を継続して使用している。	○

②人事制度の導入	教育制度の導入	継続	指定研修制度とビデオ研修制度を引き続き実施している。	○
	給与制度の導入	準備	外部コンサルタントと抜本的な給与制度改革に向けて準備をした。	○
	人事制度の効果的な運用	継続	人事制度ガイドブックに基づき評価・教育を継続している。	○

(3)はたらきやすい職場	内 容		評 価	
①労働環境の改善	定期的な職員意識調査の実施	—	令和2年度に職員意識調査の実施に向けて準備をする予定。	—
	意識調査から見えてきた課題の改善	継続	働きやすい職場作り、メンタルヘルス対策を実施できた。	○
	生き生きと働ける法人に向けた取り組み	継続	有給取得率の向上、時間外業務の縮小の対策を実施できた。	○
	ハラスメントの予防	継続	相談窓口一覧表を全職員に配布し、啓発・活用することができた。	○
	メンタルヘルス対策	実施	新型コロナウイルスの影響で全体研修をビデオ研修に変更した。	△

3. 地域とのつながりの充実

(1)地域貢献	内 容		評 価	
①地域への貢献活動	地域の課題とニーズに合った活動	準備・実施	移転したあけびの実に貸館機能を設け、地域の団体等が使用できるように整備を行った。	○
	市民向け勉強会の発展	継続	支援の現場を見学できる平日に開催日を変更し、継続して実施した。	○

(2)地域交流	内 容		評 価	
①地域行事への参加や市民との交流	地域イベントの実施	継続	各種イベントを継続して実施した。地域のウォーキングや体操等に積極的に参加した。	○
	招待行事の積極的な参加	継続	継続して参加した。大府市楽友協会管弦楽団の定期演奏会にも出演した。	○

(3)広報活動	内 容		評 価	
①広報機能の充実	機関紙のあり方	見直し	過去に実施したアンケートの見直しを行い、機関紙作成のマニュアルを作成した。	○
	広報活動にかかる媒体のあり方	実施	フェイスブックページを開設し、法人の活動紹介を開始した。	○
	企業・商店等と協力関係による広報	実施	募金箱のリニューアルを行い設置したが、調査が不十分であった。	△

あけび苑

【重点事項】

①生活班・就労班ともに低迷する授産活動の見直しを行い、収入の改善を目指す。	
新規開拓を行ったり既存業者に発注増をお願いしたりした結果、収入増につながった。	○
②生活班の利用者の得意を活かした日課・生産活動が提供できるように、調査・準備を行う。	
試行で創作活動を行ない、秋にはアート展に出展をして、今後の足掛かりの年となった	○
③開所から34年経過し、古くなった施設内の設備の更新を数年に分けて段階的に行う。	
作業室・食堂の手洗いのタイルの補修と、廊下の照明をLED化し環境改善を行った。	○

《生活介護事業》利用定員：28名

利用者一人ひとりの障がい特性と個性を配慮し、ニーズを大切に、個々に応じた環境の中で適したプログラムを提供します。

《就労継続支援B型事業》利用定員：12名

利用者の個性やニーズを大切に、一人ひとりに応じた環境の中で、労働を通して自己の力を発揮し、やりがいを持って働けるように支援します。

【利用者実績】

(上段：生活介護事業 下段：就労継続支援B型事業)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	30	30	30	30	30	30	30	30	30	31	31	31
開所日	21	22	20	22	19	20	22	21	20	19	19	22
延人数	589	592	584	609	538	574	618	577	558	536	558	607
契約者数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
開所日	21	22	20	22	19	20	22	21	20	19	19	22
延人数	233	223	225	250	212	224	239	229	227	210	205	244

【職員配置】

生活介護事業	就労継続支援B型事業
管理者（常勤兼務1名） 看護師（非常勤1名）	サービス管理責任者（常勤1名） 嘱託医（非常勤1名） 用務員（非常勤1名）
生活支援員（常勤8名：非常勤9名）	職業指導員（常勤1名）、生活支援員（非常勤1名） 目標工賃達成指導員（常勤1名）

【日課】

08:30 09:15 10:30 12:00 13:15 15:00 15:15 16:00

生活介護	着替え	朝礼	作業散歩	作業納品	食事休憩	班活動	掃除	着替え終礼	
就労継続	着替え	作業			食事休憩	作業	掃除・終礼 着替え		
		09:00			12:15 13:15		15:30 16:00		

【就労支援事業実績】

○生活介護事業

収 入		支 出	
下請作業	948,308	給料	570,990
雑収入（預金利息等）	35	材料費・光熱水費等	210,651
		手数料・消費税等	38,317
収入合計	948,343	支出合計	819,958
		当期収支差額	120,927

○就労継続支援B型事業

収 入		支 出	
下請作業	2,171,539	給料	2,362,330
委託業務	547,798	材料費・光熱水費等	187,003
雑収入（預金利息等）	490	手数料・消費税等	80,190
収入合計	2,719,827	支出合計	2,629,523
		当期収支差額	90,304

【取引先】

- | | | |
|-------------|------------|----------------|
| ○中央容器株式会社 | ○タツミ化成株式会社 | ○あいちリネン |
| ○トーエイ株式会社 | ○幸伸株式会社 | ○株式会社マツミヤケミカル |
| ○柏木産業株式会社 | ○株式会社チタソー | ○株式会社SKM(コラビア) |
| ○フジイ化工株式会社 | ○株式会社原製作所 | ○大府ロータリークラブ |
| ○株式会社ダイコーゴム | | |

【主な事業の実施内容】

○全体事業

大項目	小項目	時期	摘要	評価
祝い	成人式	1月10日	利用者2名の成人を祝う	○
行事	石ヶ瀬コミリンピック	9月29日	台風で中止	—
	福祉・健康フェア	9月22日	模擬店・あけび苑紹介などで参加	○
安全確認	総合防災訓練	3月23日	避難・消火器・通報訓練と啓発ビデオ	○
健康管理	健康診断	7月8日	共和病院で尿・血液・血圧等の検査を実施	○
	歯科検診	10月3日	大府市歯科医師会の協力を得て実施	○
	予防接種	11月25日	インフルエンザ予防接種を希望者が接種	○
研修	職員研修	通年	隔月で計6回予定が2回実施できず	△
	利用者研修	適時	成人式他行事の主体的準備等	○
職員会議	定例会議、ケース会議等	通年	各種会議を適時に開催	○
給食	行事食、通常食	通年	試行・栄養・衛生等に留意し実施	○
家族への支援	緊急時の支援	随時	緊急時に家庭で介助できない際に対応	○
	家族会の開催	第2木曜日	3月にあけび苑の今後に関する研修会	○
	父親・兄弟研修	—	参加者少数のため中止	×
招待	福祉コンサート等	年2回	各種団体による招待	○

○事業別事業

大項目	小項目	時期	生活介護事業		就労継続支援B型事業	
			摘要	評価	摘要	評価
作業活動	下請け作業	通年	時給回復できず	△		○
就労支援		適時		—	希望者なし	—
療育活動	各種体操	月3回		○		—
	音楽療法	第1・3火曜日		○		—
	絵画・創作活動	第3水曜日		○		—
宿泊実習		7月～8月	9回(23名)	○	3回(10人)	○
行事 その他	アダプトプログラム	通年		公園美化	○	—
	一泊旅行	11月21～22日 11月28～29日	三重県	○	三重県	○
	日帰り旅行	6/5, 14, 24, 28	ビーチランド	○		—
		4月15日		—	木下サーカス	○
	カフェ会	1/29, 30 2/3, 5, 6, 10, 14	星乃珈琲他	○		
	レストラン会	2/26, 27, 3/4, 9	東海市 ハローキッド	○		—
	勉強会	3月28日		—	ソーシャルスキル トレーニング	○
お疲れ様会	3月12日		—	大府市内	○	

計画相談支援事業所カラフル

【重点事項】

①管理・運営機能の強化	
大府市自立支援協議会による相談支援体制の構築の検討が開始された中、今後の相談支援専門員の配置について考察した。	○

《特定相談支援事業》 《障害児相談支援事業》

福祉サービスの利用を希望する方に対し、サービス等利用計画の作成およびモニタリングを行い、一人ひとりの望む暮らしの実現につなげていきます。

また、法人内外の関係機関と連携し、地域で安心して暮らせるように、生活全般に係る様々な相談・助言・調整を行います。

【特定相談支援事業 実績】

契約者 135名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成	21	5	1	5	2	4	5	5	10	4	12	10	84
モニタリング	18	23	15	27	20	34	19	15	15	24	16	25	251
合計	39	28	16	32	22	38	24	20	25	28	28	35	335

【障害児相談支援事業 実績】

契約者 1名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
モニタリング	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3

【日常的な事業内容】

支援内容	摘要	評価
計画作成及びモニタリング	サービス等利用計画の作成及びモニタリング	○
生活全般に係る相談	利用者及び家族からの相談への対応	○
サービスの情報提供	障がい福祉サービス等に関する情報提供	○
関係機関との調整	障がい福祉サービス等に係る諸機関との調整	○

【職員配置】

管理者（常勤1名）	相談支援専門員（常勤1名）
-----------	---------------

東あけび苑

【重点事項】

①利用者の人数変化に伴う苑全体の作業量、作業内容の見直し検討を行う。	
生活介護と就労班の作業量の調整をし、就労班の作業量の確保をした。年度末、新型コロナウイルスの影響を受け、作業量が減少してしまった。	△
②各利用者の状況に合わせた各班の日課を再検討する。	
各班苑内でできる創作活動や、多目的室での運動やストレッチを検討し、月に数回取り入れた。	○

《生活介護事業》 利用定員30名

利用者の長所に着眼し、個々に応じたグループの中でニーズを大切にしたい支援プログラムを提供し、より楽しく充実した日中活動ができるように支援します。

《就労継続支援B型事業》 利用定員10名

日々の作業活動を通じ、地域社会の一員として誇りを持って暮らしていけるように支援します。

【利用者実績】

(上段：生活介護事業 下段：就労継続支援B型事業)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	29	29	29	29	29	29	29	29	29	28	28	28
開所日	21	22	20	22	19	19	22	21	20	19	19	22
延人数	580	596	564	619	514	509	585	573	540	506	505	581
契約者数	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
開所日	21	22	20	22	19	19	22	21	20	19	19	22
延人数	182	166	160	179	143	152	173	171	166	158	150	160

【職員配置】

生活介護事業	就労継続支援B型事業
管理者（常勤1名） 調理員（非常勤2名） 送迎職員（非常勤1名）	サービス管理責任者（常勤1名） 嘱託医（非常勤1名） 看護師（常勤1名）
生活支援員（常勤6名：非常勤4名）	職業指導員（常勤1名） 生活支援員（非常勤1名） 目標工賃達成指導員（非常勤1名）

【日課】

	9:00	10:30	10:40	12:00	13:00	14:30	14:45	15:30	16:00
生活介護	朝礼・作業療育他	休憩	作業療育他	昼食休憩	作業療育他	休憩	療育他	掃除	帰宅
就労継続	朝礼作業	休憩	作業	昼食休憩	作業	休憩	作業	掃除	帰宅
	9:00	10:30	10:40	12:10	13:10	14:30	14:45	15:30	16:00

○生活介護事業

収 入		支 出	
下請作業	3,039,239	給料	2,695,850
雑収入（預金利息等）	60	材料費・光熱水費等	273,230
		手数料・消費税等	66,384
収入合計	3,039,299	支出合計	3,035,464
		当期収支差額	3,835

○就労継続支援B型事業

収 入		支 出	
下請作業	4,769,386	給料	2,610,470
雑収入（預金利息等）	27,637	材料費・光熱水費等	151,823
		手数料・消費税等	160,568
収入合計	4,797,023	作業指導員給与	1,809,140
		支出合計	4,732,001
		当期収支差額	65,022

【取引先】

○株式会社松尾製作所 ○株式会社カワグチ ○タツミ化成株式会社 ○株式会社型善
○大府市地域婦人団体連絡協議会 ○株式会社ダイコーゴム ○前田産業株式会社

【居室確保事業実績】 5件

【主な事業の実施内容】

大項目	小項目	時期	摘要	評価
作業活動	下請け軽作業	通 年	年間を通じ、比較的安定した作業活動を実施	○
	受注・委託作業等		作業の特徴を踏まえ、受注を調整して実施	○
就労支援	—	—	希望者なし	—
療育活動	リフレッシュ活動	適 時	散歩・運動・創作活動などを実施	○
	音楽療法・体操	通 年	専門講師を招き、定期的実施	○
親 睦	歓迎会	4月 11日	新たな利用者・家族・職員との交流・会食	○
	一泊旅行	9月12・13日 26・27日	京都、滋賀方面	○
	日帰り旅行	10月 24日	南知多ビーチランド	○
社会生活 学 習	避難訓練	年 3回	火災・地震を想定し、訓練を実施	○
	総合防災訓練	3月 19日	避難訓練・消火器体験	○
	宿泊実習	6月・7月 4回実施	自宅外で宿泊できる力を高めるとともに、 個々の生活力を確かめる。	○
	交通安全対策	5月～6月	事故防止のため同行指導等により実施	○
地域啓発 ・ 地域交流	北山区民運動会	5月 19日	地域で行われる催し物等に参加して関係者 や一般市民と交流し、相互理解を深める。	○
	北山夏祭り	8月 3日		○
	北山公民館祭り	9月 7日		○
	共和東保育園との 交流会	10月 18日	共和東保育園にて東あけび苑フェスタにて 展示する作品を共同制作	○

地域啓発 ・ 地域交流	東あけび苑フェスタ	11月3日	もちつきやフリーマーケットの企画等で、 一般市民の方を招き交流し、相互理解を深める。	○
	芸能祭	5月・8月	顔の見える関係作りを目的の一つとし、文化 芸能ボランティアの受入を積極的に実施	○
健康管理	健康診断	6月24日	共和病院で尿・血液・血圧等の検査を実施	○
	歯科検診	10月3日	市内歯科医師会の協力により実施	○
	予防接種	12月3日	インフルエンザ予防接種を希望者が接種	○
職員研修	内部研修	通年・適時	法 人内研修会・苑内自主勉強会等を実施	○
	外部研修	通年・随時	県福祉協会・県社会福祉協議会等関係団体により企画・開催される研修会に参加	○
職員会議	定例会議	毎週火曜日	事業の検討・情報共有を目的に毎週実施	○
	個別支援計画会議 ケース会議等	適時・通年	支援の考察に係る様々な意見提供・検討を 目的として開催	○
給食	行事食・通常食	通年	嗜好・栄養・衛生等に留意し、実施	○
家族への 支援	緊急時の支援	随時	家族の緊急時に一時預かりを実施	○
	家族会の開催	第2木曜日	家族同士・職員と家族が相談・協議	○
	個別面談	適時	生活と利用意向の把握を目的として実施	○
	家族会研修会	11月14日	福祉制度について（役所職員の話聞く）	○

ひだまり

【重点事項】

①日課や業務を「見える化」し、マニュアルを整備する。	
日課や各種業務において、必要なマニュアルを作成し、「見える化」を行った。	○
②介護保険サービス関係事業所との連携を図る。	
特別養護老人ホームへの移行や移行準備のため、関係者会議や情報交換等を行った。	○

《生活介護事業》利用定員20名

知的に障がいのある方の加齢に伴う様々な課題（作業の質や量・生活のリズムや健康維持・対人関係・生きがい等）に対応することを目的とし、各人の状態にとふさわしい活動を行い、生きがいを得る事が出来るよう配慮し、働きかける。

また、社会の構成員として地域の中で様々な資源を利用し、市民と関わり合いながら、そして安心して暮らせるよう、地域社会への働きかけをする。

【利用者実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	18	17	17	18	18	19	19	19	19	18	18	18
開所日	21	22	20	22	19	20	22	20	20	19	19	22
延人数	327	325	299	352	307	326	385	350	345	313	312	354

【職員配置】

管理者（常勤兼務1名） サービス管理責任者（常勤兼務1名）
 生活支援員（常勤4名：非常勤5名） 看護師（非常勤1名） 嘱託医（非常勤1名）

【日課】

8:30	10:00	10:30	11:40	12:00	13:00	15:00	15:30
送迎 身支度	朝礼 散歩 体操	諸活動	口腔 体操	昼食 休憩	諸活動	休憩 身支度 終礼	送迎

【就労支援事業実績】

収 入		支 出	
下請作業	216,436	給料	247,960
雑収入（預金利息等）	211,412	材料費・光熱水費等	86,192
		手数料・消費税等	19,937
収入合計	427,848	支出合計	354,089
		当期収支差額	73,759

【取引先】

○株式会社折武 ○株式会社石川商店 ○トーエイ株式会社

【居室確保事業実績】 0件

【主な事業の実施内容】

大項目	小項目	時 期	摘 要		評 価
作業活動	下請け軽作業	通 年	割り箸の袋入れ		○
	自主製品等 その他	適 時	石鹸づくり あけびの実クッキーの配達		○
		通 年	自動販売機管理		○
諸活動	健康維持活動	通 年	介護予防体操・口腔体操・散歩		○
	社会的活動	通 年	買い物・喫茶・外食・公共施設利用		○
	文化的活動	通 年	創作・調理・絵画・音楽		○
行事活動	歓迎花見会	4月18日	利用者・保護者・職員の親睦を目的に実施		○
	イベント招待等	11月27日	福祉コンサート…名フィルによる招待		○
	日帰り旅行	11月19日 11月26日 11月28日	あおいパーク 碧南水族館	親睦と見聞を深め、心身のリフレッシュを目的とする。行き先を複数設定し、グループごとに実施	○
	お楽しみ会 交流会	隔月	ボランティアによる楽器演奏等の芸能を楽しむ		○
	福祉・健康フェア	9月22日	地域交流・理解促進を目的に協賛団体として参加		○
	喫茶会	2月25日 26日 28日	ことこと珈琲 カフェヨシノ	親睦と深め、心身のリフレッシュを目的とするとともに、地域資源の活用体験の機会として実施	○
	クリスマス会	12月25日	季節を感じつつ親睦を深めるために実施		○
	新年会	1月17日	利用者・保護者・職員の親睦を目的に富木島寿司で実施		○
	誕生日会	第3木曜日	誕生日を迎えた利用者のお祝いを実施		○
健康管理	健康診断	6月26日	共和病院で尿・血液・血圧等の検査を実施		○
	歯科検診	10月3日	市内の歯科医師会の協力による歯科検診を実施		○

	予防接種	12月5日	インフルエンザ予防接種を希望者が接種	○
	検温・血圧 体重測定	適時	定期的に測定し、健康状態の把握に役立てる	○
危機 管理	避難訓練	隔月	火災・震災時を想定した体験学習を実施	○
研修	職員研修	随時	内部研修及び外部関係団体等の研修会に参加	○
会議	職員会議	毎週火曜日	事業の検討・利用者支援の考察・検討を実施	○
給食	通常食・行事食	通年	委託業者等と連携し、質・量等健康対策に留意して実施	○
家族 支援	緊急時の支援	随時	今年度はなし	—
	家族会の開催	月1回	家族同士・職員と家族が相談・報告・協議	○

あけびの実

【重点事項】

①事業所移転が順調に実施できるように、必要な準備を行う。	
建設関係業者との打合わせや必要な備品の調達等、12月の移転に向けた準備を行った。	○
②食品表示法改正に向けて、表示方法の整備をすすめる。	
令和2年4月の食品表示法改正に対応できるよう整備を行った。	○

《就労継続支援B型事業》 利用定員：20名

利用者が街で地域社会と関わりながら働くこと、働き賃金を得ることが豊かな生活につながることを、そして自らの将来を考えた自己成長ができるように支援する。

【利用者実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
開所日	21	23	20	23	20	20	23	21	21	19	19	22
延人数	334	342	316	351	304	303	341	320	317	300	302	350

【職員配置】

管理者（常勤兼務1名） 職業指導員（常勤1名） 目標工賃達成指導員（常勤1名）	サービス管理責任者（常勤1名） 生活支援員（非常勤3名）
---	---------------------------------

【日課】

	08:30	09:00	10:30	12:00	13:00	14:30	15:30	16:00
着替え	作業			食事休憩	作業			掃除 終礼 着替え
	作業		出張販売	食事休憩	作業			

【就労支援事業実績】

収入		支出	
下請作業	4,567,612	給料	7,295,700
販売作業	9,165,237	材料費・光熱水費等	6,271,942
雑収入（預金利息等）	87	手数料・消費税等	69,992
収入合計	13,732,936	支出合計	13,637,634
		当期収支差額	95,302

- 株式会社松尾製作所
- 住友重機械工業株式会社
- 日多加産業株式会社
- 大府東高校
- トーエイ株式会社
- おおぶ文化交流の社
- 近崎ふれあい会館

- 株式会社豊田自動織機（大府工場・共和工場・長草工場）
- 愛三工業株式会社
- 株式会社サガミチェーン（市役所6階レストラン）
- 大府市（市内各保育園）
- 株式会社名古屋多田精機
- 株式会社魚初（至学館大学内Yショップ）
- ラ・ファルファアラ
- 共和保育園

【主な事業の実施内容】

大項目	小項目	時期	摘要	評価
作業活動	ベーカリー作業	通年	パン・クッキー・パウンドケーキの製造	○
	組み立て作業		自動車部品の簡易な下請け軽作業	○
販売活動	店頭・出張・委託販売	通年	店頭及び様々な事業所、催し先での販売	○
就労支援	一般企業就労支援	適時	希望者なし	—
事業所移転	移転準備	～12月	令和元年12月移転に向けた新施設の建設や必要備品等の準備をすすめる	○
行事	親睦旅行	11月28日～29日	1泊2日の日程で滋賀県の琵琶湖方面の旅行を楽しむ	○
	日帰り旅行	5月31日 6月28日 7月8日	東山動植物園・名古屋城・ナゴヤ球場の3グループに分かれて日時を変えて実施	○
	開所式	12月5日	長草町に新築した施設に関係者を招き式典と内覧会を行う	○
	忘年会	12月27日	あさくま大府店にて、1年を振り返る親睦と作業意識を深める	○
	フリープランレク	4月30日 8月16日 10月21日	大府公民館で調理会 大府センター内で映画鑑賞とスイカ割り 南大高でボーリングとショッピング	○
招待	福祉コンサート	未実施	移転準備の時期と日程が重なり参加できず	×
健康管理	健康診断	7月3日	共和病院にて健康状態を検査する	○
	歯科検診	10月3日	歯科医師会の協力を得て希望者が検診	○
	インフルエンザ予防接種	12月4日	希望者にインフルエンザ予防接種を実施	○
	検便	2回実施	食品製造従事者に義務付けられている検便を全員年2回実施する	○
研修	職員研修	通年	法人内部研修・外部関係研修に適時参加	○
	利用者研修	3月16日	職員が講師となり「手洗い・マスク着用」について学ぶ	○
職員会議	定例会議、ケース会議等	通年	1年を通して各種の会議を適時に開催	○

給食	通常給食・自由昼食	通年	休業で給食提供出来ない日は自由給食として近隣の飲食店やコンビニ弁当を楽しむ	○
家族支援	緊急時の支援	随時	緊急時に家庭で介助できない際に一時的に預かる。今年度要請なし	○
	家族会の開催	4・9・11・1月	家族同士の相談、事業所からの報告、協議する場として、適時開催する	○

たくと大府

【重点事項】

①職員が毎朝の発声訓練を通してモチベーションの向上を図りチームワークを高める。	
毎朝発声訓練を行いチームワークを高めることができた。	○
②ほっこり掲示板を活用して職員と家族のコミュニケーションを深める。	
掲示板から家族との話題が広がり、コミュニケーションを深めることができた。	○
③毎日のミーティングで行動障害のある方への理解を深める。	
毎日ミーティングを行い、行動障害のある方への理解を深めることができた。	○

《生活介護事業》利用定員：30名

地域で暮らしていくことに様々な配慮が必要な方に対し、情緒の安定を第一に考え、安心して過ごせる場所とプログラムを提供します。

【利用者実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	24	24	24	24	23	23	23	23	23	24	24	24
開所日	21	22	20	22	19	19	22	21	20	19	19	22
延人数	497	509	479	496	430	432	494	478	453	438	433	503

【職員配置】

管理者（常勤兼務1名）	サービス管理責任者（常勤兼務1名）
生活支援員（常勤7名：非常勤7名）	看護師（非常勤1名） 嘱託医（非常勤1名）

【日課】

08:30	09:15	10:30	12:00	13:15	15:00	15:15	16:00
着替え	朝礼	作業 散歩	作業・ 納品等	食事 休憩	自立課題活動 療育活動等	掃除	着替え 終礼

【就労支援事業実績】

収 入		支 出	
下請作業	3,615,432	給料	2,307,500
雑収入（預金利息等）	41	材料費・光熱水費等	143,367
		手数料・消費税等	116,891
		車輛運搬具	627,800
収入合計	3,615,473	支出合計	3,395,558
		当期収支差額	219,915

【取引先】

- 株式会社マツミヤケミカル ○株式会社カワグチ ○フジイ化工株式会社
 ○タツミ化成株式会社 ○株式会社松尾製作所

【居室確保事業実績】 3件

【主な事業の実施内容】

大項目	小項目	時期	生活介護事業	
			摘要	評価
生産活動	受託作業活動	通年	取引先企業より作業を受託する	○
グループ活動	スリム体操	週1回	多目的ホールを使い定期的を実施	○
	サーキット運動	月2回	多目的ホールを使い定期的を実施	○
	バランスボール運動	月2回	多目的ホールを使い定期的を実施	○
	3B体操	月1回	専門講師に依頼して実施	○
	ミックススポーツ	月2回	専門講師に依頼して実施	○
	音楽療法	月2回	専門講師に依頼して実施	○
	絵画活動	月1回	専門講師に依頼して実施	○
	おかしバイキング	月2回	多目的ホールを使い定期的を実施	○
自立課題	自立課題活動	通年	机上で自立的に行う療育活動の提供	○
社会生活学習	宿泊実習	7回 (一人1泊)	たくと大府内の設備を使い、自宅以外での宿泊を体験する	○
行事	歓迎会	4月11日	多目的ホールにて開催	○
	鑑賞会	9月 17.19.20日	杉本美術館を見学	○
	たくとBBQ	10月18.24日	ニツ池公園バーベキューエリア	○
	たくと大府フェスタ	11月3日	セレクトナ・東あけび苑と同時開催	○
	一泊旅行	11月28.29日 12月6・7日	松阪市グリーンライフ山林舎	○
	レストラン会	3月 11.17.18日	美浜町で外食	○
	成人式	1月10日	多目的ホールにて開催	○
安全確認	総合防災訓練	3月11日	消火器使用実施訓練等	○
健康管理	健康診断	7月24日	共和病院で尿・血液等の検査を実施	○
	歯科検診	10月3日	大府市歯科医師会の協力を得て実施	○
	予防接種	11月16日	インフルエンザ予防接種を希望者が接種	○
研修	職員研修	通年	自閉症支援に関する研修を実施	○
職員会議	定例会議、ケース会議等	通年	一年を通して各種の会議を適時に開催	○
給食	通常給食	通年	栄養バランスの取れた給食を提供	○
家族支援	緊急時の支援	随時	緊急に家庭で介助できない際に対応	○
	家族会の開催	月1回	一年を通して会議を開催	○

《日中一時支援事業》利用定員：10名／日

支援が必要な知的障がい児・者を一時的に預かり、利用者のニーズに応じた活動プログラムを提供し、活動を通して余暇の充実を図ります。また、これらを通して、家族の生活の安定の一助となることを目的とします。

【利用者実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23
開所日	20	19	20	22	19	19	21	20	20	19	18	21
延人数	107	113	115	124	95	113	114	118	110	108	106	102

【職員配置】

生活支援員（常勤1名：非常勤10名）

【日課】

15:00	16:00	16:30	17:00	17:40	18:30
送迎	着替え 始まりの会	作業 買物・おやつ	自由時間	送迎	

地域生活支援センター「そら」

【重点事項】

①ヘルパーの確保に向けて、より積極的に具体的な取り組みを行う。	
折込広告に求人を出し、市内回覧板にも募集案内を入れてもらえるように手配を行った。	○
②利用者の変化等に対応するため、グループホームの週末・夜間の支援体制を見直す。	
はんつきホームの週末支援体制を見直し充実を図った。	○
③増加を続けるヘルパー事業・ホーム事業のニーズとサービス提供量に対し、事業規模に応じた体制を整えられるようにする。	
健全な収支バランスを維持し、R2年度に向けて人員増員が可能な経営状態を示した。	○

利用者とその家族が地域において安心して生活を送れるように、利用者・家族のニーズを受けて、障がい内容や家庭状況に応じて、居住の場から生活・余暇の支援など地域生活全般にわたり、質の高い細やかなサービスを実施します。また、法人内事業所及び他の関係機関との連携を図りながら必要な支援をします。

ホームヘルプセンター「そら」

【事業の実績】

事業名		年間利用時間	対象者	評価	
障がい福祉サービス	居宅介護事業	家事援助 身体介護 通院等介助	21.5時間 64.0時間 238.0時間	知的障がい者 身体障がい者 指定児童	○
	行動援護事業	1036.0時間	知的障がい者 知的障がい児	○	
地域生活支援事業	移動支援事業	5597.0時間	知的障がい者 身体障がい者 指定児童	○	
オプション事業	移送サービス	延べ 201人	「そら」利用者	○	
	タイムケア	28.5時間	「そら」利用者	○	

【事業の実施】

事業名	サービス提供日	サービス提供時間
居宅介護事業 行動援護事業 移動支援事業	月曜日から日曜日 ただし8月13日から16日と12月29日から1月4日を除く。	6時から22時

【その他の事業の実施】

大項目	小項目	時期	摘要	評価
研修	ヘルパー研修	年3回	「そら」単独のヘルパー研修を2回、らいふとの合同研修を1回実施	○
	講師派遣	年5回	行動援護従業者養成研修講師 社協主催の福祉実践教室講師	○
	市民向け勉強会	2月21日	2月に一般市民に障がい福祉について学んでもらう	○
会議	事務所職員会議	月1回	利用者状況把握、事業所内情報交換	○
	虐待防止会議	12月6日	虐待予防のための取り組み	○
	ケース会議	随時	困難事例にて適時開催。意見交換や相談はしているが会議の頻度は少ない	△

【職員配置】

職名	管理者	サービス提供責任者	常勤ヘルパー	登録ヘルパー
人数	1名(兼務)	2名	3名	35名

【利用契約者】

所属	法人利用者	一般成人	学齢児
人数	88名	14名	16名

ホーム事業所「そら」

《共同生活援助事業所》利用定員40名

【住居の状況】

名称	事業	定員	現員	開設年度	所在地
ひいらぎホーム	グループホーム	3名	3名	平成6年度	吉川町
若草ホーム	グループホーム	5名	4名	平成9年度	若草町
池之分ホーム	グループホーム	4名	4名	平成12年度	森岡町
ひまわりホーム	グループホーム	6名	5名	平成14年度	横根町
はんつきホーム	グループホーム	10名	10名	平成18年度	半月町
みのてホーム	グループホーム	5名	5名	平成26年度	横根町
よしかわホーム	グループホーム	4名	4名	平成27年度	吉川町
くすのきホーム	グループホーム	3名	2名	平成29年度	吉川町

【利用者実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	33	33	33	35	35	36	36	36	36	37	37	37
開所日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31
延人数	861	859	802	889	812	841	925	861	852	852	820	907

【日常的な事業内容】

支援内容	摘要	評価
入居者への食事の提供	平日の朝夕、週末・祝日の朝昼夕を提供する	○
金銭管理	生活費・家賃の管理	○
健康管理	法人看護師の助言を受けて日中施設と連携して把握	○
日常生活における応談・助言	必要に応じて相談を受け、施設と調整を行う	○
日常生活における介助	介助マニュアルに基づき介助	○
個別支援計画に基づく支援	アセスメントを行い利用ニーズを支援の中心に据える	○

【その他事業の実施内容】

大項目	小項目	時期	摘要	評価
会議	世話人連絡会議	隔月	入居者の情報交換や運営の打ち合わせ	○
	各ホーム定例報告会	隔月	各ホーム世話人が隔月で個別会議	○
	バックアップ職員会議	年4回	各施設とホームとの情報交換	○
	虐待防止会議	12月6日	虐待予防のための取り組み	○

	事務所職員会議	月1回	利用者状況把握、ホーム運営体制構築	○
研修	世話人研修会	9月26日	事故・ヒヤリハットから学ぶ	○
		2月20日	支援者として大切にしていること	
	市民向け勉強会	2月21日	市民に障がい福祉について学んでもらう	○
行事	外出行事（週末行事）	年2回	はんつきホーム、ひまわりホーム、それぞれ長期休み時に実施	○
	余暇行事（各ホーム）	適時	各ホーム外食や買い物など適時実施	○

【職員配置】

職名	管理者	サービス管理責任者	世話人	生活支援員	看護師
	1名（兼務）	2名	8名	18名	1名（兼務）

大府市発達支援センター みのり

【重点事項】

① 発達や年齢に応じた集団・個別療育の充実を図る。	
発達を見据えた課題や目標の共有を行い、療育に取り組んだ。	○
② 関係機関との連携を強化する。	
連絡会議・ケース会議の実施・参加で情報の共有を行った。	○

《児童発達支援事業》 定員12名/日

就学前の肢体に不自由のある子どもや心身の発達が気になる子どもが集団生活や地域で成長し、生活していく力を築くことができるようにご家族と一緒に考えながら支援していく。

【利用者実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	16	20	21	23	23	23	23	23	25	25	24	24
開所日	20	19	20	22	21	19	20	20	20	19	18	21
延人数	92	112	110	156	123	123	133	121	111	120	129	168

【職員配置】

管理者（常勤兼務1名）	児童発達支援管理責任者（常勤兼務1名）	保育士（常勤2名）
児童指導員（常勤1名）	作業療法士（常勤兼務1名）	看護師（常勤1名）
管理栄養士（常勤1名）	調理員（非常勤1名）	理学療法士（非常勤3名）
言語聴覚士（非常勤1名）	臨床心理士（非常勤1名）	医師（非常勤2名）

【日課】

9:00	10:00	10:40	11:30	12:30	14:45	15:00	16:00
個別療育	朝の会 ふれあい体操	集団療育	給食	昼寝・個別活動 おやつ	帰りの会	帰宅・個別療育	

【事業内容】

大項目	小項目	時期	摘要	評価
集団療育	集団活動	通年	保育士・児童指導員らによる集団活動	○
個別療育	個別機能訓練	通年	理学療法・作業療法・言語療法・心理相談	○
健康管理	健康診断	10月・2月	嘱託医が来園し実施	○
	歯科検診	8月28日	嘱託歯科医が来園し実施	○
	検温・身体測定	通年	定期的に行い実施し体調や成長を確認	○

式典	卒園・修了式	3月24日	みのり遊戯室にて実施	○
行事	七夕会	7月	みのり遊戯室にて実施	○
	遠足	5月16・27日 11月7・15日	あいち健康の森公園にて実施 大府みどり公園にて実施	○
	クリスマス会	12月	みのり遊戯室にて実施	○
	まめまき会	2月	みのり遊戯室にて実施	○
	ひなまつり会	3月	みのり遊戯室にて実施	○
	誕生会	通年	みのり遊戯室にて実施	○
交流	保育園交流	随時	若宮保育園園開放日に訪問	○
	地域交流	9月12・18日	愛厚ホーム大府苑 ひだまりとの交流	○
懇談 家族支援	センター長懇談会	4月 10月	保護者との意見交換等	○
	個別面談	7・11・3月	個別支援計画の作成等で実施	○
研修	職員研修	通年	内部研修及び外部関係団体研修に参加	○
職員会議	定例会議・ケース会議	通年	児童の支援・運営に関することを協議	○
給食	通常給食	通年	児童の成長に必要な栄養・食事形態を考慮	○

《保育所等訪問支援事業》

地域の保育園等を訪問し、肢体に不自由のある子どもや心身の発達に遅れがある子どもに対して 集団生活に必要な支援を行う。

【利用者実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
回数	0	0	0	1	0	4	1	2	2	2	1	0
人数	0	0	0	1	0	3	1	1	1	1	1	0

【職員配置】

管理者（常勤兼務1名） 児童発達支援管理責任者（常勤兼務1名） 作業療法士（常勤兼務1名）

《相談支援事業》

特定相談支援事業 障害児相談支援事業

子どもの発達や子育てに関する相談に応じます。また、各種福祉サービスを利用するための計画を立てます。

【利用者実績】

全て障害児相談

特定相談実績なし

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計画作成	4	2	4	2	0	2	1	1	0	0	0	0
モニタリング	2	4	3	5	5	7	4	5	2	4	1	3
合計	6	6	7	7	5	9	5	6	2	4	1	3

【職員配置】

管理者（常勤兼務1名）

相談支援専門員（常勤1名）

【事業内容】

支援内容	摘要	評価
生活全般に係る相談	家族からの相談に対応	○
サービスの情報提供	サービス等に関する情報提供	○
計画作成及びモニタリング	利用計画の作成及びモニタリング	○
関係機関との調整	障がい福祉サービス等に係る機関との調整	○

令和元年度大府福祉会の総括

法人の運営

【中長期総合計画の推進】

6年間の中長期総合計画について、新事業部会・人材育成部会・地域広報部会とそれを取りまとめる計画策定部会により、2年目内容を着実に実施するように取り組んできたが、一部実施できなかった内容があった。

【経営計画の推進】

計画的な財務管理を行うために策定した経営計画の推進を行った。

積立金については、あけびのの実の移転関連で取崩しがあったため達成できなかったが、計上増減差額については、目標値を上回っているため達成している。

【収支決算】

令和元年度はあけびのの実の移転建設があり、関連する資金が大きく動いた。

大きな支出を伴う事業ではあったが、福祉医療機構からの借入金を活用して実施した。また、法人内で積立金の取り崩しも行ったが、年度末で新たに積立金を残すこともできた。給付費を中心としたサービス活動収入に関しては、給付費の加算への対応を積極的に行い収入の確保に努めた。その結果、収支の安定に繋がった。

【新型コロナウイルス感染症の影響】

3月に行う予定であった会議や研修の一部が実施できなくなった。

新たな事業に向けての取組み

【事業の整備】

あけびの実が中央町の大府センターから長草町に2019年12月に移転し、現在順調に運営できている。既存事業の定員の量的拡大に関しては向こう3年の特別支援学校卒業生を調査し、情報を共有し、今後の法人の利用者増に対する動向を話し合った。新事業（暮らしの場）の創出に関しては、現在方向性をみい出せていない。令和2年度に部会と管理者会議で今後の方向性を話し合っていく。

【事業運営の強化】

高齢化する利用者への支援で認知症判断テストを毎年継続的に実施し、今後起こりうる利用者の老いに対しての支援に活かしていけるように確認した。また今できる災害への備えとして「171伝言ダイヤル」の活用等を行った。

人材育成の取組み

【はたらきやすい職場作り】

有給取得率向上、休憩時間の確保、時間外労働の減少など、労働環境向上のために取得率等を数値化し、各事業所に啓発を図ることで、いずれの項目も前年以上の結果を残すことができた。

【給与制度改革】

人事制度で導入した資格等級制度をさらに効果的なものにするため、給与制度を抜本的に見直す作業にとりかかっている。収入における人件費率が膨れないようバランスをとりながら、外部コンサルタントの助言を参考に改定への準備を進めることができた。

地域に向けての取組み

【地域啓発】

夏休みの小学生向け体験会を前年に続き開催した。それぞれの体験施設で延べ26名の参加があった。市民向け勉強会の開催も継続して実施し、幅広い年齢層の方に向けて取り組みを知っていただく機会を設けている。

【地域交流】

大府市楽友協会管弦楽団より招待を受けて、あけび苑の利用者が定期演奏会で共演した。楽団員との交流と来場者の方々への周知にも繋がった。

【地域貢献】

移転したあけびの実が地域の活動に役立てるよう、建物に貸館機能を整備した。子育て支援の団体の活動やフードドライブの団体が食糧保管に活用を始めている。